

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年01月25日

計画の名称	浸水対策重点地域における緊急治水対策の推進（防災・安全）緊急対策												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	福島県, 相馬市												
計画の目標	中小河川の氾濫により深刻な浸水被害が生じた地域において、重点的な河川改修事業による流下能力の向上を行うことで、早期の再度災害の防止等を図り、県民が安全で安心して暮らせる地域づくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	6,398	A	6,298	B	0	C	100	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	1.56	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	令和元年台風第19号により被災した河川の再度災害防止のため、流下能力を向上させ、計画期間内に家屋（1100戸）の浸水被害を解消する。 河川改修により浸水被害（外水が影響のもの）が解消される家屋数	0戸 ⁱ	戸 ⁱ	1100戸 ⁱ

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果 備考																				
その他総合的な治水事業	A08-001	総合治水	一般	福島県	直接	福島県	広域系	—	A1-114 いわき相双圏域 総合流域防災事業(小泉川)	築堤盛土 V=38,000m3, 河道 掘削 V=121,000m3, 護岸工 A =42,000m2	相馬市	■	■	■	■	■	6,000		—	
	A08-002	総合治水	一般	相馬市	直接	相馬市	広域系	—	A1-115 いわき相双圏域 総合流域防災事業(移動 式排水設備等)	移動式排水設備の配置 N=2 台	相馬市	■	■	■	■	■	298		—	
											小計						6,298			
											合計						6,298			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接		種別1	種別2				R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
その他総合的な治水 事業	C08-001	総合治水	一般	福島県	直接	福島県	情報・ 河川	—	A1-116 いわき相双圏域 総合流域防災事業（情報 設備等）	危機管理型水位計設置 N=5基 ，監視カメラ設置 N=5基	相馬市	■	■	■	■	■	50	—	
		河川改修事業と併せて、危機管理型水位計等を設置することで情報共有体制の強化を図る。																	
	C08-002	総合治水	一般	相馬市	直接	相馬市	情報・ 河川	—	A1-117 いわき相双圏域 総合流域防災事業（避難 計画再検討等）	避難計画の再検討 N=1式，ハ ザードマップ作成 N=1式，水 害対応タイムライン N=1式	相馬市	■	■	■	■	■	50	—	
		河川改修事業と併せて、ハザードマップ作成等のソフト対策を実施することで避難体制の強化を図る。																	
											小計						100		
											合計						100		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	978	2,200	1,724	1,150	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	978	2,200	1,724	1,150	
前年度からの繰越額 (d)	0	841	1,284	1,173	
支払済額 (e)	101	1,756	1,834	1,360	
翌年度繰越額 (f)	841	1,284	1,173	963	
うち未契約繰越額(g)	18	245	308	27	
不用額 (h = c+d-e-f)	36	1	1	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	5.52	8.08	10.27	1.16	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	国補正含む				

事前評価チェックシート

計画の名称： 浸水対策重点地域における緊急治水対策の推進（防災・安全）緊急対策

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○